

10. 関係機関相互の連携による防災訓練 の実施

(幹事機関: 中部管区警察局)

関係機関相互の連携による防災訓練の実施

【推進体制】 幹事：中部管区警察局 副幹事：中部地方整備局

【実施状況】

○H25年8月31日、9月1日に第3回を実施

連携強化と災害対応能力の向上を図るため広域的・実践的な訓練を実施

国地方支分部局

県

ライフライン機関
報道機関など

市

連携

各種実働訓練・情報伝達訓練・図上訓練など

南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練 結果報告

日時：平成25年8月31日（土）～9月1日（日）
想定地震：南海トラフ巨大地震
（静岡県は東海地震）
震度分布：地震 マグニチュード9.0
津波 マグニチュード9.1
参加機関：約292機関（約15,000名）

※南海トラフ地震の想定は、平成24年8月29日
内閣府公表資料に基づく

河川環境楽園【広域支援基地】

- ・広域支援本部の設置
- ・北陸地整の支援部隊等集結・出動
- ・陸上自衛隊ヘリによる緊急支援物資、通信機器輸送 等

サリオパーク祖父江
（愛知県訓練会場）

- ・道路啓開訓練
- ・排水訓練 等

松蔭東排水機場・
白鷺防災拠点

- ・濃尾平野の道路啓開・
排水オペレーション訓練 等

三重県（熊野市・御浜町・紀宝町）

- ・中部地整ヘリによる緊急支援物資・通信機器輸送
- ・緊急車両の搬送先までの仮設道路設置訓練
- ・海自、陸自、県警、建設業協会との連携
- ・海自輸送艦による災対車両等の搬送
- ・リエゾン派遣・映像伝達訓練
- ・避難訓練
- ・道路啓開訓練 等

中部地整ヘリ①
中部地整ヘリ②
自衛隊ヘリ

中部地方整備局 災害対策本部

- ・広域支援本部との情報伝達
- ・通信の確保
- ・道路啓開・航路啓開・排水オペレーション計画の
検証 等

情報共有

国土交通本省・他地整・大学

- ・本省とのTV会議
- ・名大、名工大、豊橋技科大、岐大、三
重大、静大とのTV会議
- ・他地整との情報伝達 等

岐阜県（県庁、中津川市・下呂市）

- ・リエゾン派遣訓練
- ・救助活動訓練
- ・陸自ヘリによる通信機器輸送訓練 等

実動訓練箇所（9/1）
対策本部等（8/31）

長野県（伊那市）

- ・通信訓練
- ・リエゾン派遣訓練 等

各県・政令市

- ・愛知緊急災害現地対策本部との通信
確保
- ・静岡緊急災害現地対策本部との通信
確保
- ・政令市は県との通信確保

名古屋空港
【基幹的広域防災拠点】

- ・中部地整ヘリによる被災状況調査

愛知緊急災害現地対策本部
（愛知県自治センター）

- ・愛知緊急災害現地対策本部設置
- ・本部要員参集
- ・静岡緊急災害現地対策本部との通
信確保

静岡緊急災害
現地対策本部
（静岡県庁）

- ・愛知緊急災害現地対策本
部との通信確保

富士市総合運動公園
【広域支援基地】

- ・広域支援本部の設置
- ・関東地整支援部隊集結・出動
- ・通信の確保

静岡県（富士市、
富士宮市、等）

- ・リエゾン派遣
- ・排水訓練
- ・映像配信 等

名古屋港【基幹的広域防災拠点】

- ・海上での漂流者捜索・救助
- ・要救助者の搬送（愛知県警ヘリ・船舶）
- ・陸自ヘリによる緊急物資輸送
- ・海上からの被害状況調査、報告
- ・海上航路啓開
- ・油回収
- ・名古屋市（港区）訓練との連携 等

※南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練とは、平成25年度総合防災訓練大綱における「東海地域広域連携防災訓練」と「地域ブロック広域訓練」と「8月及び9月の静岡県総合防災訓練」を同時に実施したものです。

南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練の実施状況

愛知緊急災害 現地対策本部

【設営訓練】



【本部会議】



災害対策本部

【本部参集状況】



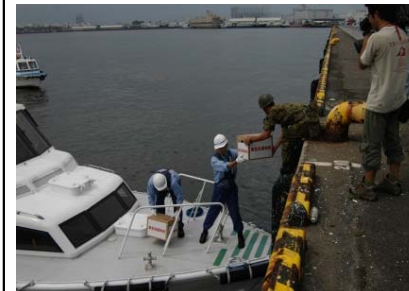
【大学とのテレビ会議】



【国土交通大臣とのテレビ会議】



【緊急物資輸送訓練】



名古屋港

【漂流者救助訓練】



【漂流物回収訓練】



河川環境楽園

【災害対策車両の集結訓練】



【広域支援基地設置訓練】



松蔭東排水機場

【濃尾平野の排水オペレー ション計画に基づく排水訓練】



富士市総合運動公園

【関東地整からの車両派遣訓練】



【広域支援基地設置訓練】



各県訓練との連携

【三重県(七里御浜)海上自衛隊輸送 艦による災害対策車両搬送訓練】



【愛知県(サリオパーク祖 父江)道路啓開訓練】

